

逸翁美術館

(池田市)

ザ・見遊じあむ

49



旧館は「小林一三記念館」として保存されます



小林一三氏

この10月に新館オープン
東洋の貴重な美術品を展示

阪急電鉄や宝塚歌劇団の産みの親といわれている小林一三氏（1873年〜1957年）は生前、古筆、絵巻、近世絵画、陶磁器、漆芸品など古今東西の美術品をコレクションしてこられた。重要文化財も含まれる貴重なコレクションを一般公開しようと、小林氏の没後に財団法人がつくられ、1957年に開館したのが逸翁美術館です。逸翁は小林氏の雅号から名付けられました。この美術館は長年、小林氏の旧邸「雅俗山荘」を展示場としていましたが、今年2009年10月より、近くにある「池田文庫」に隣接する地に新築移転してオープンしました。旧邸「雅俗山荘」は「小林一三記念館」として、現地で保存されることになっていきます。新美術館には、蕪村、呉春、円山四条派など、東洋を代表する美術品も展示し、古美術フ

アンには一見の価値があります。芸術の秋。新旧の逸翁美術館を訪れてみてはいかがでしょう。

ミュージアムメモ

▶所在地/池田市栄本町12-27▶交通/阪急宝塚線「池田駅」下車徒歩10分▶開館時間/10時〜17時（入館は16時30分まで）▶休館日/月曜日。但し月曜日が祝日・振替休日の場合は開館し火曜日が休館▶入館料/一般1000円、大学・高校生600円、中学・小学生以下無料▶連絡先/072-751-3865

「沈まぬ太陽」



山崎豊子のベストセラー小説が
ついに映画化

日本映画では珍しく、3時間30分（10分間の休憩あり）の長時間ドラマです。気合を入れて映画館へどうぞ。

「白い巨塔」「華麗なる一族」「不毛地帯」「大地の子」など、人間の本质を世に問う長編小説を次々に手がけ、今や国民的作家といわれる山崎豊子。その多くの長編小説が映画やテレビドラマになったなかで、いまだに映像化されていない傑作が「沈まぬ太陽」です。その作品がいよいよ映画化されました。日本が高度経済成長を実現し世界経済の頂点へのぼりつめていく昭和30年代。日本経済の花形航空会社に働く一人の男性―恩地元（おんじ）

はじめ）。ビジネスマンとして、労働組合のリーダーとして、巨大組織の中で翻弄されながらも、不屈の精神を持ち続け、自らの信念を貫く生き方を描きます。映画化にあたっては主人公の恩地元には渡辺謙。そして、恩地の同僚から袂を分かってエリートコースを歩む行天四郎に三浦友和。その他に松雪泰子、鈴木京香、石坂浩二など、日本映画界の豪華なキャストです。ジャンボ機の大航空事故、航空産業と政界の汚職、世界を股にかけた航空ビジネスなど、大きなテーマとスケールの大きさから、舞台は、日本のみならず、中東、アフリカ、アメリカへと壮大に展開していきま

このシネマ

ガレージ

大阪の戦跡を歩く

第48歩

従軍慰安婦の慰霊碑

(大東市)



毎年、建立された10月に地元で慰霊の集いが行われます

元日本兵士が有志で建立

野崎観音から山麓沿いに南へ歩くと「婦碑不動院」があり、日本ではここと千葉県内の2つしか知られていないという従軍慰安婦の慰霊碑が建っています。

1977年に大阪市の石田龍雲氏（故人）が有志で建立しました。「大東亜戦没日韓看護婦慰霊の碑」と記され、その下に「いくさ人 いたわり助け 育みし看護の労 永久に称えぬ」と刻まれています。石田氏は第二次大戦中、中国東北部へ日本陸軍の兵士として招集され、看護婦たちが従軍慰安婦にされているのを目撃。「少女たちがかわいそうで胸が痛む」とこの碑を建てました。

津河内 おおさか 三国誌

49 (東大阪市)

鴻池善右衛門と新田開発
大和川付け替え跡地に
広大な耕作地を経営

江戸時代初期の幕府による検地の後に開墾された農地は、水田・畑地を問わず「新田」と呼ばれ、幕府の財政基盤を支えました。大阪では宝永元年（1704年）の大和川付け替えに伴う大規模な新田開発が有名です。現在の東大阪市の北部にあたる旧大和川の川筋（玉串川、久宝寺川）の河床や堤防を中心に大規模な新田が造成されました。この開発を引き受け、新田完成後もその管理運営にあたったのが豪商・鴻池善右衛門でした。江戸時代における「民活」の大型公共事業です。新田の管理運営を行った施設が現在も「鴻池新田会所」として一般に公開されています。会所では鴻池家から派遣された支配人の管理下で、小作農民からの小作料、肥料代の徴収、幕府への年貢上納、耕地・家屋の



本屋には広大な土間と高い梁が 史跡・鴻池新田会所

管理・補修、宗門改帳の作成・整理、幕府からの伝達、新田内の争いの裁定などを行っていました。大水害の時は、被災民への炊き出しもしていました。当時、全国各地の新田では、天候不順による不作や、小作人との争議によって多くの所で経営に行き詰まっていました。しかし、鴻池新田の経営は鴻池家によって代々引き継がれ、江戸時代が終わるまでの240年間、経営者が替わることはありませんでした。会所は1980年に重要文化財に指定されています。

いまも心に響く
名詩・名歌・名語録

非暴力は弱者の武器ではなく
もっとも雄々しい心を
もつ人の武器である
ガンジー

今年2009年10月2日はインドの社会運動家、マハトマ・ガンジーの生誕140年目にあたります。ガンジーは第一次大戦後、イギリスからの独立をめざす運動に際して非暴力を提唱し、何度も投獄されながらもインドを独立に導きました。ガンジーの非暴力はその後、アメリカの黒人解放運動の指導者キング牧師らにも引き継がれました。

秋の夕日に
照る山紅葉
高野 辰之

「濃いも薄いも数ある中に…」と続きます。子どもの頃、秋の遠足で歌った思い出をもつ人も多いことでしょう。明治44年の「尋常小学校唱歌」に所収され、日本の秋の象徴歌にも数えられています。作詞した国文学者・高野辰之（1876〜1947）は、幼少の頃過ごした信州の自然を題材に「故郷」「おぼろ月夜」「春の小川」などの詩も残しています。